

WH/MS 印刷手順 特定色の色合わせ方法

- ONYX rip 編 -

本書では、RIP でホワイトインク（WH）やメタリックシルバーインク（MS）を使用して印刷する手順（SC-S80650 のみ）や特定色の色合わせをする方法を説明します。別冊の『RIP 印刷の手引き』（PDF）と合わせてお読みください。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するソフトウェア RIP の画面は、特に指定がない限り以下を使用しています。
Windows7 で RIP Queue (Ver.1.2) 使用時

OS の表記

Windows の表記

本書では、Microsoft® Windows® の OS (オペレーティングシステム) の総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

本書では、Mac OS X の OS (オペレーティングシステム) の総称として「Mac OS X」を使用しています。

商標

「EPSON」、 「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」 は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。
Mac、 Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、 Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、 Illustrator、 Photoshop、 Adobe RGB (1998) は、 Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- プリンターが、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適合に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

はじめに	4
準備するもの	4
作業の流れ	5

印刷データの加工	6
Illustrator の設定	6
Photoshop の設定	9

RIP での印刷設定	14
ONYX rip での設定	14
クイックセットの作成	14
加工済みデータの印刷	20
未加工のデータの印刷	22

特定色の色あわせ	27
ONYX rip での設定	27

困ったときには	31
WH/MS が印刷されない	31
カラーと WH/MS が重なる部分が正しく印刷されない	31
高濃度印刷時に階調飛びが見られる	32

はじめに

ホワイトインク（以降 WH）やメタリックシルバーインク（以降 MS）を使って RIP 印刷するときには、他のカラーインクのみでの印刷時に加えて必要な作業があります。本書では、WH/MS を使う印刷作業の流れと手順を説明します。加えて、特色（PANTONE や DIC Color など）やコーポレートカラーのような特定色の色合わせを RIP で行う方法を紹介します。

RIP 印刷の基本情報を記載した『RIP 印刷の手引き』（PDF）と合わせてご覧ください。

準備するもの

ソフトウェア RIP（以降 RIP）

WH/MS 印刷の対応 RIP をお使いください。各 RIP の対応状況は、メーカーのホームページをご覧ください。

Epson Control Dashboard (Dashboard)

最新の Dashboard をお使いください。（更新情報が通知されたら速やかにアップデートしてください。）

WH/MS 印刷用の EMX ファイルをダウンロードしたり、プリンターや RIP に設定情報を取り込んだりするときに使用します。詳細は、『RIP 印刷の手引き』（PDF）をご覧ください。

印刷データ（PDF）

！重要

WH/MS 印刷時には、RIP で印刷データを読み込む前に画像処理ソフトで、以下の加工が必要です。

例えば、WH 印刷時に印刷データ内の WH で印刷するオブジェクトを特定のレイヤーにまとめて「White」という名前にするだけでは、RIP が WH での印刷領域として自動的に処理することはありません。

• WH/MS で印刷する部分を特色指定する。

WH 印刷時を例に説明します。印刷データ内の白（R.G.B=全て 255 または C.M.Y.K 全て 0%の色域）は、他のカラーインクのみでの印刷時と同様にインクを打ち込む必要がない領域として RIP は処理します。このため、WH 対応プリンター使用時でも、画面で白く見える部分=WH での印刷領域として RIP は自動的に処理できません。

まず、カラーインクで印刷する部分と WH / MS で印刷する部分をレイヤーなどに分けておくことをお勧めします。

• インクの重ね順（印刷する順番）を指定する。（Adobe Illustrator のみ）

印刷時にインクを重ねる順番を簡単に指定できるように、WH/MS とカラーインクのレイヤーを分けることをお勧めします。

加工手順の詳細 [🔗 「印刷データの加工」6 ページ](#)

画像処理ソフト

印刷データ加工時に使用します。本書では、Adobe Illustrator と Adobe Photoshop の手順を説明します。いずれも、CS1 以上のバージョンを推奨します。

作業の流れ

印刷作業は、以下の手順で行います。

初回のみ『RIP 印刷の手引き』(PDF) をご覧になり、「1.印刷の準備」を行ってください。

1. 【カラーモード切り替え】を実施する。

印刷に使用するインクカートリッジを装着済みのときは、2に進んでください。

未装着時は、必ず【カラーモード切り替え】を行ってください。詳細は、『ユーザーズガイド』(PDF) をご覧ください。



2. プリンターにメディアをセットして、登録したメディア設定番号を選択する。

メディアを正しくセットして、プリンターに登録したメディア番号を選択します。

メディアのセットやメディア設定番号選択の詳細は、『ユーザーズガイド』(PDF) をご覧ください。



3. 印刷データを確認して、WH/MS 印刷用に加工する。

印刷データを画像処理ソフトで開いて、WH/MS で印刷する部分の特色指定やインクの重ね方などを設定します。

データの加工をすることなく印刷設定時に同様の処理をできる RIP をお使いのときは、4に進んでください。

[🔗 「印刷データの加工」6 ページ](#)



4. 印刷データを RIP で読み込んで、印刷する。(手順は、お使いの RIP によって異なります。)

印刷データを RIP で開いて、使用インク色に応じた印刷モードの選択や、印刷設定を行います。

印刷開始前に、毎回プレビューでデータを確認してから印刷することをお勧めします。

[🔗 「RIP での印刷設定」14 ページ](#)

印刷データの加工

ここでは、WH/MS で印刷する部分を含む印刷データを Adobe の画像処理ソフトで加工する手順を紹介します。図 A のようにオブジェクトやテキストがメインのベクターデータは Adobe Illustrator（以降、Illustrator）で、図 B のように写真やグラフィックメインのラスターデータは Adobe Photoshop（以降、Photoshop）で加工します。加工手順は、以下をご覧ください。

[「Illustrator の設定」 6 ページ](#)

[「Photoshop の設定」 9 ページ](#)

図 A

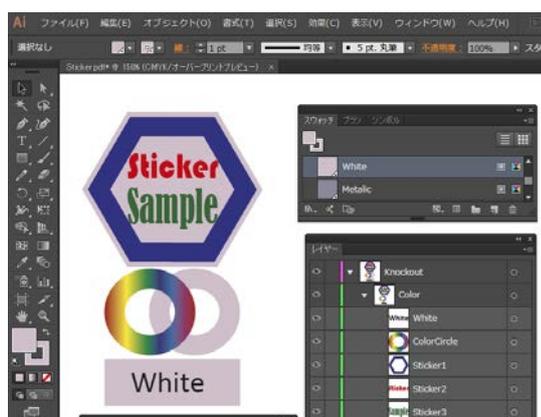
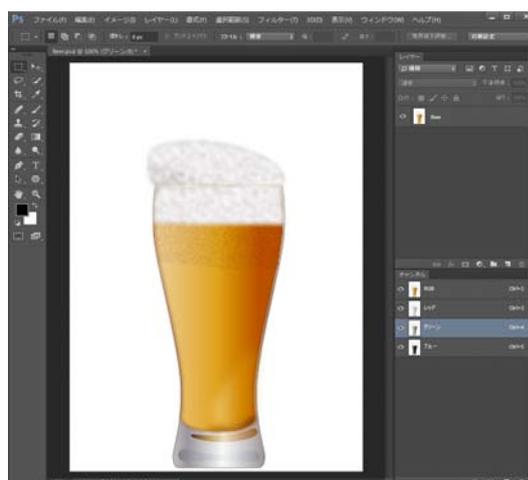


図 B



参考

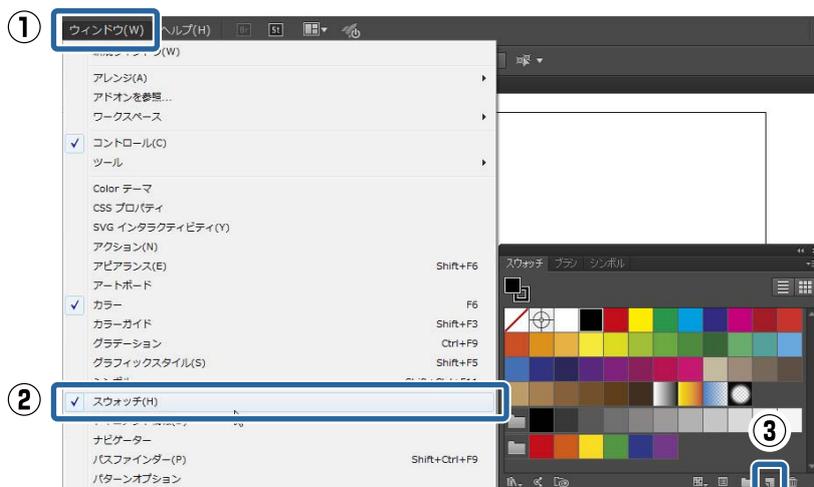
- 印刷データに WH/MS 印刷する部分の情報が含まれていないときは、加工前に画像処理ソフトで描き込んでください。
- 未加工のデータを確認しながら簡単な設定をするだけで WH/MS 印刷することもできます。詳細は、以下をご覧ください。
[「未加工のデータの印刷」 22 ページ](#)

Illustrator の設定

Windows7、Adobe Illustrator CC(2015)で WH を含むデータの加工手順を例に説明します。

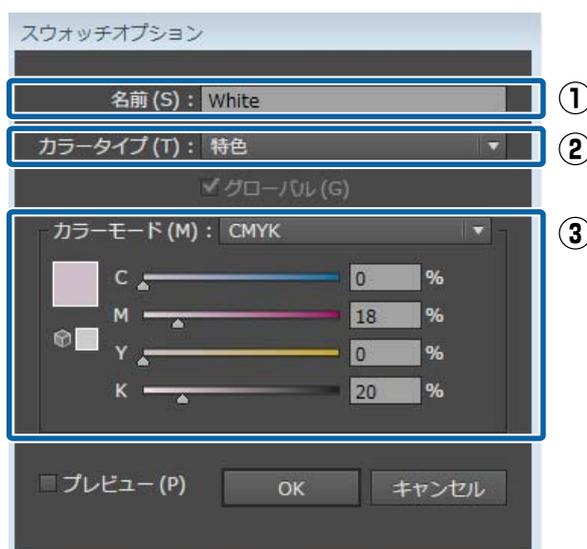
- 1 **Illustrator** を起動して、印刷データを開きます。

- 2 [ウィンドウ] - [スウォッチ] の順にクリックし、 (新規スウォッチ) をクリックします。



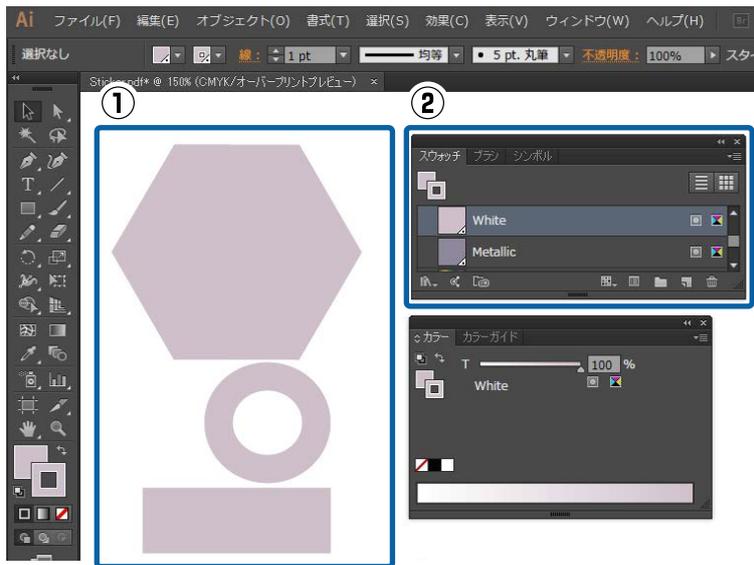
- 3 下表をご覧になり、WH を印刷する領域に割り当てる塗り色を指定して、[OK] をクリックします。

①	[名前]	半角文字で特色名を入力します。WH 印刷用は「White」、MS 印刷用は「Metallic」のようにインク色が判別可能な名前をお勧めします。 ONYX RIPCenter をお使いのときは、WH 印刷用・MS 印刷用どちらも「Spot1」にしてください。 RIP での印刷設定時にここで付けた名称を使用します。大文字・小文字の間違いがないようにメモしておいてください。
②	[カラータイプ]	[特色] を選択します。
③	[カラーモード]	[CMYK] を選択して、塗り色を指定します。白 (CMYK 全て 0%) にすると背景色と判別しにくいので、表示確認用に画像で使用していない明るい色を指定することをお勧めします。(図の例では紫がかった薄いグレーに設定。)



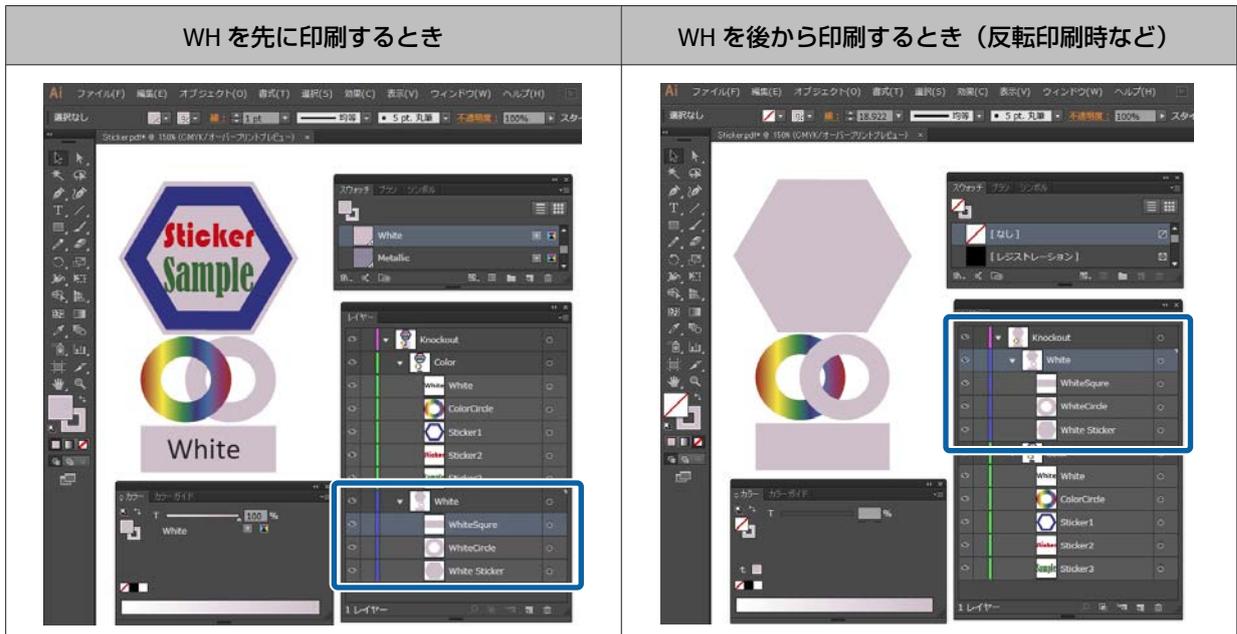
以降、スウォッチでこの色を指定した部分は、WH で印刷されます。

4 WHで印刷するオブジェクトを選択して、塗りに手順3でスウォッチに保存した特色を指定します。



5 [ウィンドウ] - [レイヤー] の順にクリックしてインクの重ね順（印刷順）を指定します。

全てのオブジェクトが同じレイヤー上にあるときは、下層にあるオブジェクトが先に印刷されます。
 WHで印刷するオブジェクトのレイヤーを分けているときは、下層にあるレイヤーが先に印刷されます。

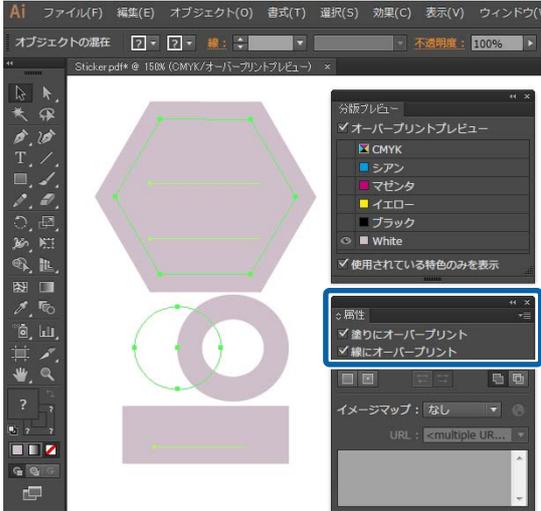
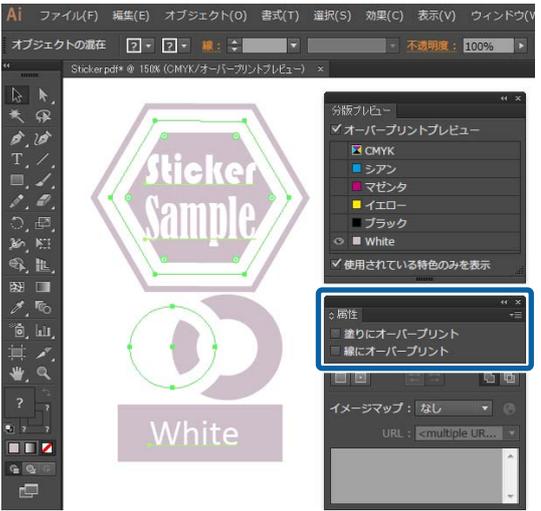


参考

お使いの RIP によっては、ここで決めた印刷順より RIP で設定する印刷順が優先されます。詳細は RIP のマニュアルをご覧ください。

- 6 [ウィンドウ] - [属性] の順にクリックし、オブジェクトが重なった部分の印刷結果に応じた設定をします。

下表をご覧になり、重なったとき上になるオブジェクトを選択した状態で設定してください。

チェックを付けたとき	チェックを外したとき
<p>重ね順に従ってカラーも WH もオブジェクト形状のまま印刷します。(オーバープリントが適用されます。)</p> 	<p>重なったとき、下層になる部分は印刷しません。(オーバープリントが適用されません。)</p> 

参考

- 表内の図は、WH の印刷結果の状態を分かりやすくするために [分版プレビュー] の [オーバープリントプレビュー] にチェックを付けて、CMYK 版を非表示にしたものです。
[分版プレビュー] は、[ウィンドウ] で [分版プレビュー] をクリックすると表示されます。
- オーバープリントは、[透明] でも同様の効果が得られます。(オーバープリントするときは [乗算] を、しないときは [通常] を選択してください) 詳細は Illustrator のヘルプをご覧ください。

- 7 全てのオブジェクトに同様の設定をしたら、データを **PDF** 形式で保存します。

[互換性のある形式] は、[Acrobat 4 (PDF 1.3)] または [Acrobat 5 (PDF 1.4)] をお勧めします。

Photoshop の設定

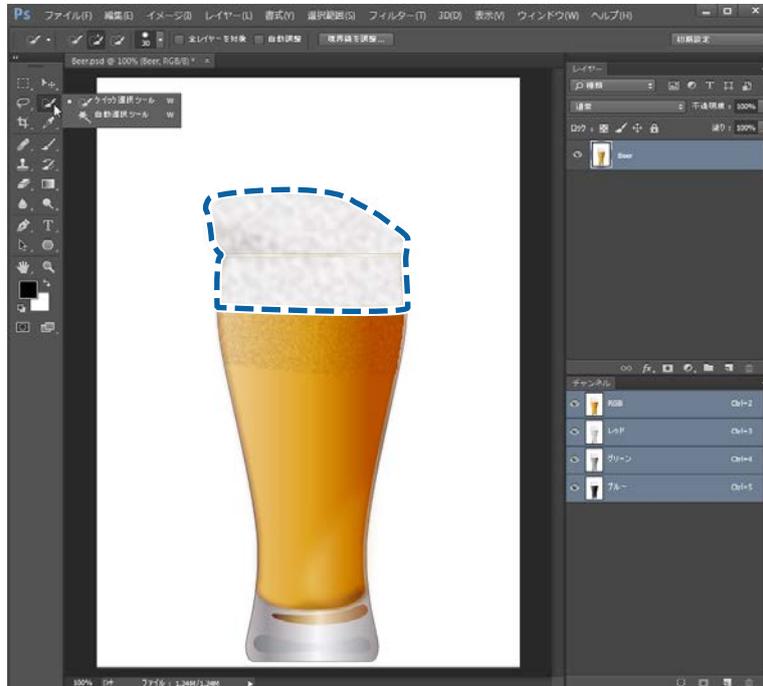
Windows7、Adobe Photoshop CC(2015)で WH を含むデータの加工手順を例に説明します。

- 1 **Photoshop** を起動して、印刷データを開きます。
- 2 [ウィンドウ] - [レイヤー] の順にクリックします。
- 3 **WH** で印刷する部分を含むレイヤー上で右クリックして、[レイヤーを複製] をクリックします。
画像のコピーができて、画像レイヤーが 2 つになります。

4 [レイヤー] でコピー元の画像レイヤーを選択して、WH で印刷する部分を削除します。

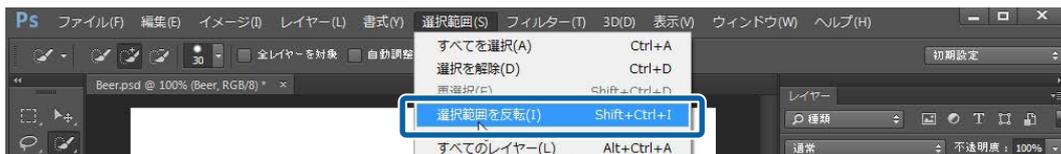
WH で印刷する部分のみ選択する方法は以下の2つがあります。詳細は、Photoshop のヘルプをご覧ください。

-  (クイック選択ツール) または  (自動選択ツール) で選択する。
- WH 印刷部分を含む領域を [選択] ツールで選択後、[選択] - [色域指定] で WH を色指定する。



5 [レイヤー] でコピーしたレイヤーを選択し、[選択範囲] - [選択範囲を反転] をクリックして WH で印刷する部分以外を削除します。

WH を印刷しない部分がなくなり、何も無い部分が選択された状態になります。



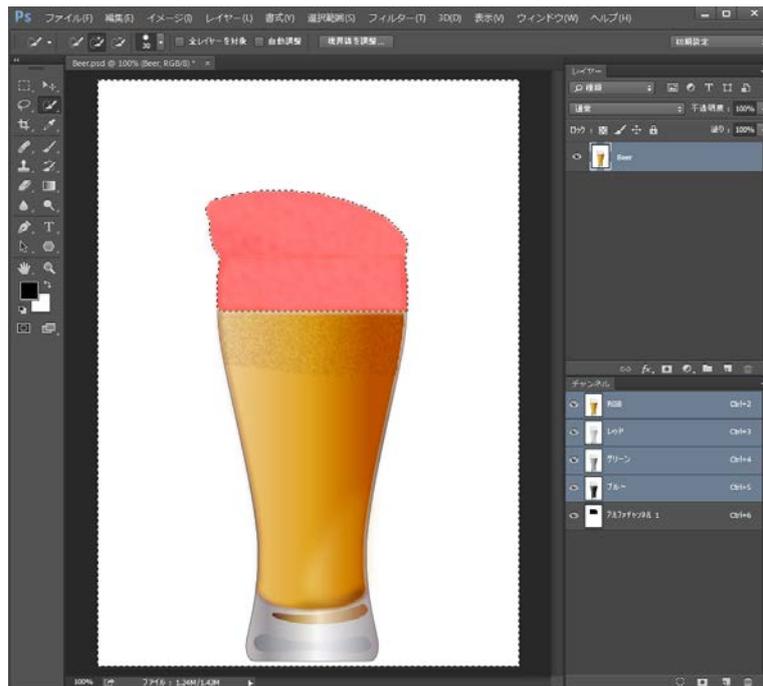
6 [ウィンドウ] - [チャンネル] の順にクリックします。

印刷データの加工

7  (選択範囲をチャンネルとして保存) をクリックします。



WH を印刷する部分がマスクされた状態になります。(赤くなった部分がマスク領域です)

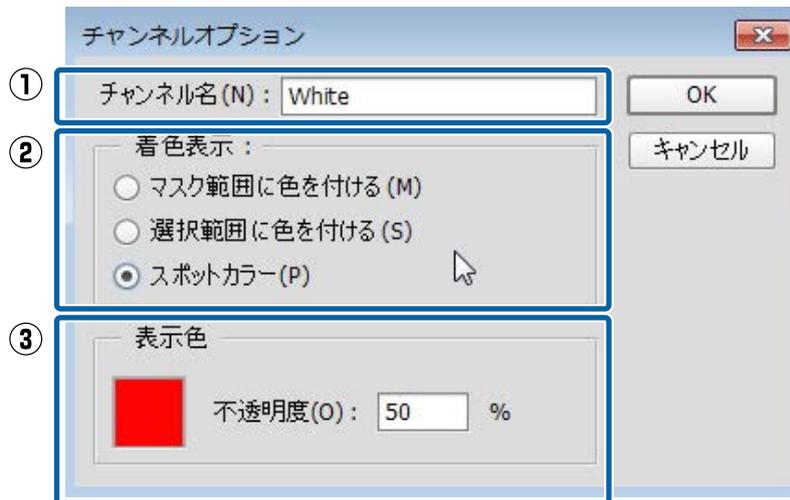


- 8 [アルファチャンネル] を選択した状態でメニューをクリックして、[チャンネルオプション] をクリックします。



- 9 下表をご覧になり、①～③を設定して [OK] をクリックします。

①	[チャンネル名]	半角文字でチャンネル名を入力します。WH 印刷用は「White」、MS 印刷用は「Metallic」のようにインク色が判別可能な名前をお勧めします。 ONYX RIPCenter をお使いのときは、WH 印刷用・MS 印刷用どちらも「Spot1」にしてください。 印刷設定時にここで付けた名称を使用します。大文字・小文字の間違いないようにメモしておいてください。
②	[着色表示]	[スポットカラー] を選択します。
③	[表示色]	WH で印刷する部分の表示色を指定します。(図の例では、赤い部分が印刷時は、WH になります)



このレイヤー上の画像を WH/MS 単色で印刷するとき：

不要なカラーインクを印刷しないように、コピーしたレイヤーを非表示にします。([ウィンドウ] - [レイヤー] でコピーしたレイヤーを選択した状態で設定してください。) アルファチャンネルだけが残り、WH/MS のみで印刷することができます。

WH/MS にカラーインクを重ねるとき：

手順 10 に進みます。

10 データを **PDF** 形式で保存します。

[互換性のある形式] で [Acrobat 4 (PDF 1.3)] または [Acrobat 5 (PDF 1.4)] を選択することをお勧めします。

RIP での印刷設定

WH/MS 印刷時は、RIP で印刷データを確認しながら設定を行う必要があります。ホットフォルダ印刷のように印刷データを確認せずに印刷する方法はお勧めしません。
詳細は、以降をご覧ください。

ONYX rip での設定

！重要

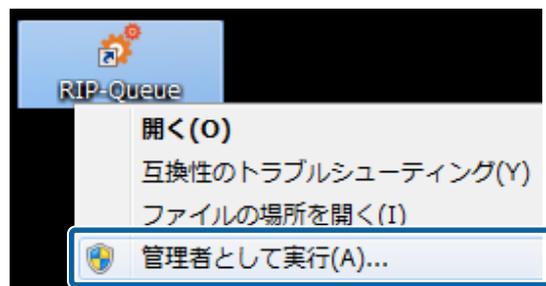
以降の作業を開始する前に『RIP 印刷の手引き』（PDF）をご覧ください、「インストールと接続」と「プリント情報のインポート」を行ってください。

ONYX rip では、クイックセット（よく使う設定を保存したプリセット）で印刷設定を行い、Job Editor で画像を確認しながら印刷します。

クイックセットの作成

ここでは、RIP Queue（Ver.12）での設定方法を説明します。

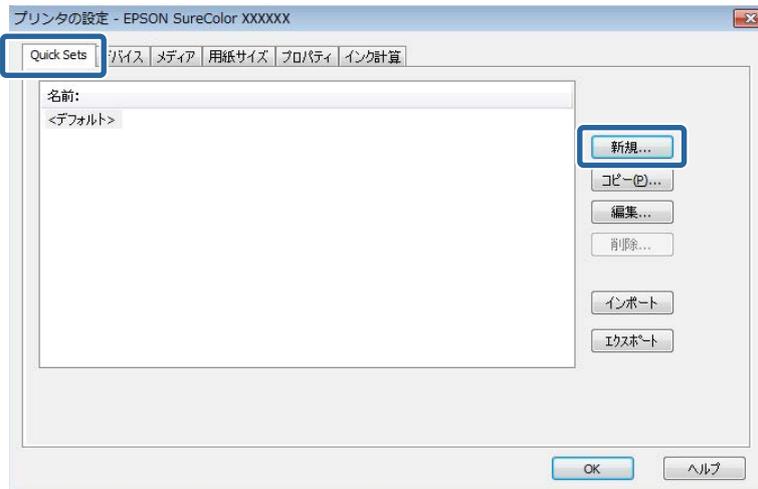
- 1 RIP Queue のアイコンを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。
クイックセットを新規作成・更新するときは、必ず管理者モードで起動してください。



- 2 ツールバーの [プリンタの設定] をクリックします。



3 [Quick Sets] タブで [新規] をクリックします。

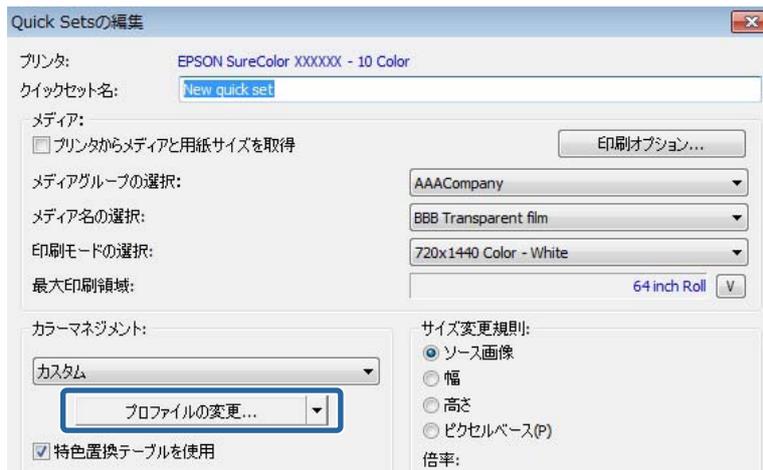


4 [クイックセット名] を入力します。

次に印刷する人にも判別しやすい名称にすることをお勧めします。

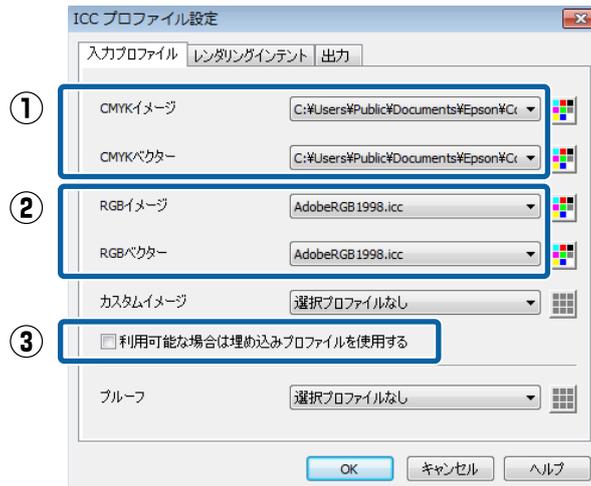


5 [カラーマネジメント] の [プロファイルの変更] をクリックします。



6 下表をご覧くださいになり、[入力プロファイル] タブで①～③を設定します。

	広色域印刷用	一般印刷用
①	EpsonWideCMYK Ver2.icc	Japan Color Coated など
②	AdobeRGB1998.icc	sRGB.icc など
③	チェックしない	チェックする



特定色の色合わせをするときは、以下もご覧ください。

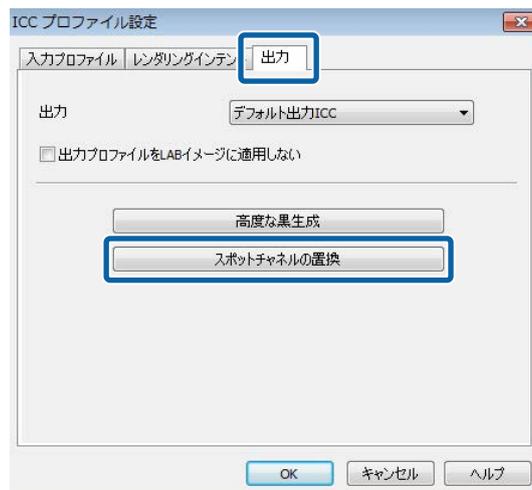
[🔗 「特定色の色あわせ」 27 ページ](#)

以降は、お使いの製品により手順が異なります。

ONYX RipCenter をお使いのとき：手順 9 へ進みます。

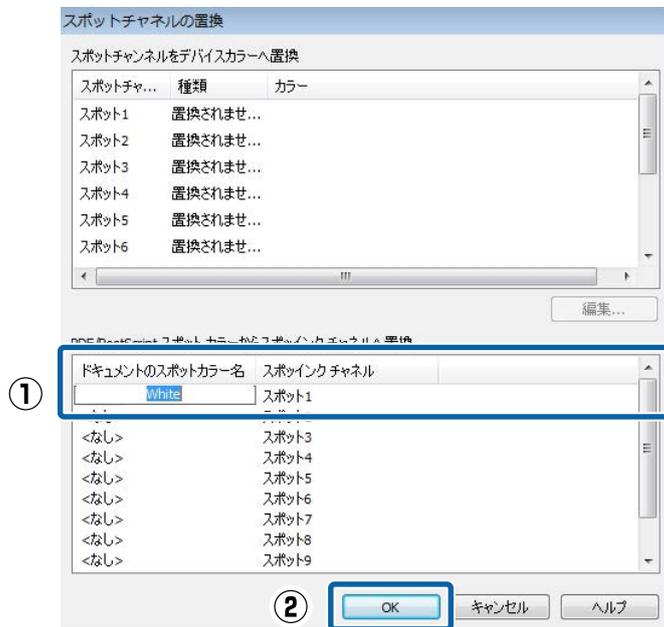
その他：手順 7 へ進みます。

7 [出力] タブで [スポットチャネルの置換] をクリックします。

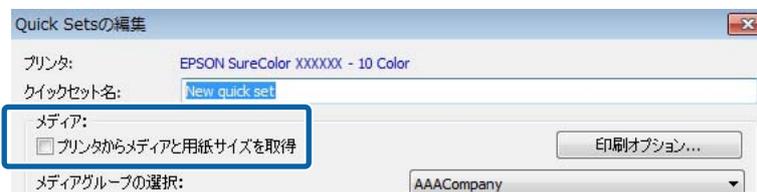


8 [ドキュメントのスポットカラー名] に **WH/MS** の特色名を入力して [OK] をクリックします。

[スポット1] の左側をクリックすると入力できます。特色スウォッチ（Illustrator）または特色チャンネル（Photoshop）で保存した名称（White または Metallic など）を、正しく入力してください。大文字、小文字の間違いやスペルミスがないよう注意してください。



9 [Quick Sets の編集] 画面に戻り、[プリンタからメディアと用紙サイズを取得] のチェックを外します。



10 下表をご覧になり、プリンターの操作パネルで選択中のメディアに合わせて設定します。

[メディアグループの選択]	メディア会社名を選択します。*
[メディア名の選択]	使用するメディアとインクの組み合わせに応じて、以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • カラーインクのみで印刷するとき: メディア名のみ • MS 印刷時: メディア名の後に (Ms) が付いたもの • WH 印刷時: メディア名の後に (W) が付いたもの
[印刷モードの選択]	印刷モード（解像度やパス数など）を選択します。 印刷モードの見方は別表をご覧ください。

* お使いのメディアの会社が見つからないときは、エプソンが提供する EMX ファイルを検索してください。EMX ファイルが提供されていないときは、メディア特性に近いものを選択してください。

RIP での印刷設定



印刷モードの見方

以下の設定では、印刷データ（入力解像度 360dpi）を 720x1440dpi で出力処理し、WH とカラーを重ねて 32 パスで印刷します。設定名の ①～⑤ が表す内容は下表の通りです。

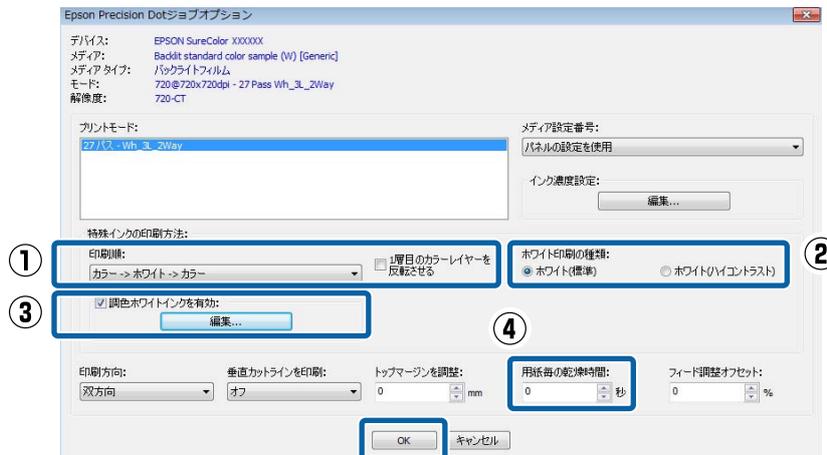
① 360 @ ② 720x1440dpi - ③ 32 Pass - ④ Wh - ⑤ 2L

①	入力解像度です。360 または 720 のどちらかを選択します。
②	RIP からの出力解像度です。数字が大きいほど印刷品質は向上しますが、印刷速度が遅くなります。
③	印刷パス数（1 区間を何回に分けて印刷するか）を表します。数字が大きいほど印刷品質は向上しますが、印刷速度が遅くなります。お使いのメディアによっては、後ろに High Quality が付く設定があります。本設定は、同じパス数の設定よりバンディングや濃淡ムラが出にくくなりますが、印字速度は低下します。
④	使用する特色を表します。（Wh または Ms） カラーインクのみで印刷するときは、④・⑤ が付かないモードを選択してください。
⑤	印刷レイヤー数です。WH/MS とカラーを重ねず同時に印刷するときは、⑤ が付かないモードを選択します。WH/MS とカラーを重ねて印刷するときは、2L または 3L を選択します。（3L は WH 印刷時のみ選択可能）3L 選択時は印刷結果の見え方も選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> 裏・表どちらか一方が正しく見えれば良いもの：_1Way 両側どちらからも正しく見えるもの：_2Way

11 【印刷オプション】をクリックします。



12 必要に応じて①～④を設定して、[OK] をクリックします。



① 印刷順

カラーと WH/MS の印刷順を設定します。選択中の印刷モードによって使用可能な設定が異なります。使用できない設定値を選択すると、RIP が自動でプリントモードを変更します。

1 層・2 層 (2L) 印刷時

[スポット->カラー (アンダープリント)]	カラーの下に WH/MS を印刷します。
[カラー->スポット (オーバープリント)]	カラーの上から WH/MS を印刷します。*
[カラーとスポット]	カラーと WH/MS を同時に印刷します。* 高速で印刷したいときのみ使用してください。

* 印刷結果を裏側から見て文字が正しく読めるようにするときは、画像を反転させてください。

3 層 (3L) 印刷時 (WH 印刷時のみ)

[カラー->ホワイト->カラー]	WH をはさんでカラーを 2 回印刷します。 裏表どちらの面から見て文字が正しく読めるようにしたいときは、[1 層目のカラーレイヤーを反転させる] にチェックを付けてください。
[ホワイト->ホワイト->カラー]	カラーの下に WH を 2 回重ねて印刷します。
[カラー->ホワイト->ホワイト]	カラーの上から WH を 2 回重ねて印刷します。*

* 印刷結果を裏側から見て文字が正しく読めるようにするときは、画像を反転させてください。

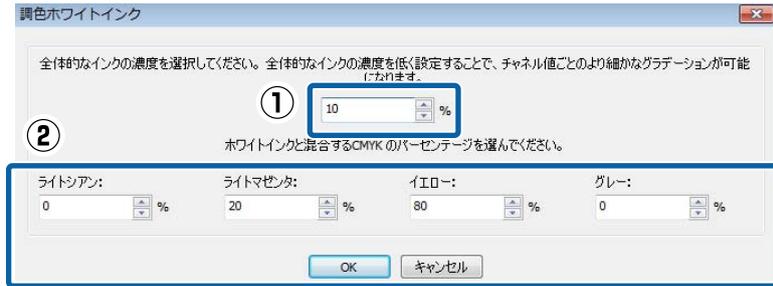
② ホワイト印刷の種類 (WH 印刷時のみ)

WH を印刷する部分の状態に応じて、以下のどちらかを選択します。

- [ホワイト (標準)]: 通常は、こちらを選択します。
- [ホワイト (ハイコントラスト)]: WH で全体を塗りつぶす (ベタ) 部分を含むデータの時。

③ 調色ホワイトインクを有効 (2 層 (2L) 印刷時のみ)

WH をインク単色ではなく、他の色 (LC/LM/Y/LK) を混ぜて色味を調整するときにチェックを付けて、[編集] をクリックします。調整は、以下の画面で行います。



- ① WH100%に対するインクの混合率を設定します。
- ② 全色の合算値が 100%になるように各色の比率を設定して、[OK] をクリックします。

④ 用紙毎の乾燥時間

- 1 ジョブ印刷終了後にヒーターや乾燥ファンで追加乾燥させる時間を設定します。

参考

- WH/MS とカラーインクを重ねて印刷すると、印刷面が十分乾燥する前に巻き取られて印刷面が貼り付くおそれがあります。お使いのメディアによって、最適な乾燥時間は異なりますが、カラーインクのみで印刷する時より少し長めに設定することをお勧めします。
- 長尺印刷時（ジョブ印刷後の追加乾燥前に巻き取られる長さ）は、プリンターの操作パネルのメニューで「パスごとの乾燥時間」を設定してください。詳細は『ユーザーズガイド』（PDF）をご覧ください。

13 [Quick Sets の編集] 画面に戻り、[OK] をクリックします。

以降は、Job Editor で、印刷データを確認しながら印刷します。データ加工の有無によって手順が異なります。

印刷データを加工済みのとき： [印刷データ加工済みの印刷](#) 20 ページ

印刷データを加工しないとき： [印刷データ加工しない印刷](#) 22 ページ

加工済みデータの印刷

あらかじめ、前項をご覧になりクイックセットを作成しておいてください。

[クイックセットの作成](#) 14 ページ

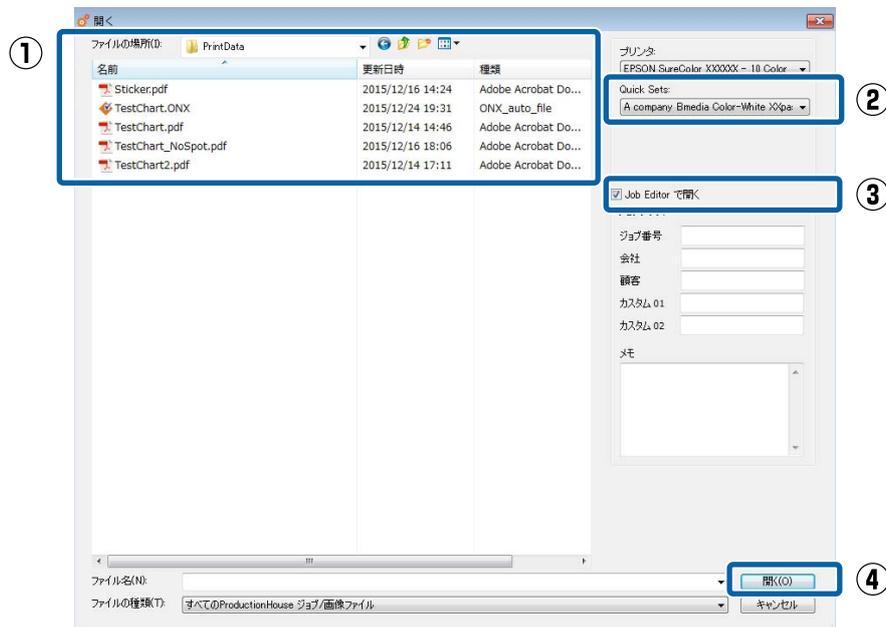
1 RIP Queue のアイコンをダブルクリックします。



2 ツールバーの「開く」をクリックします。



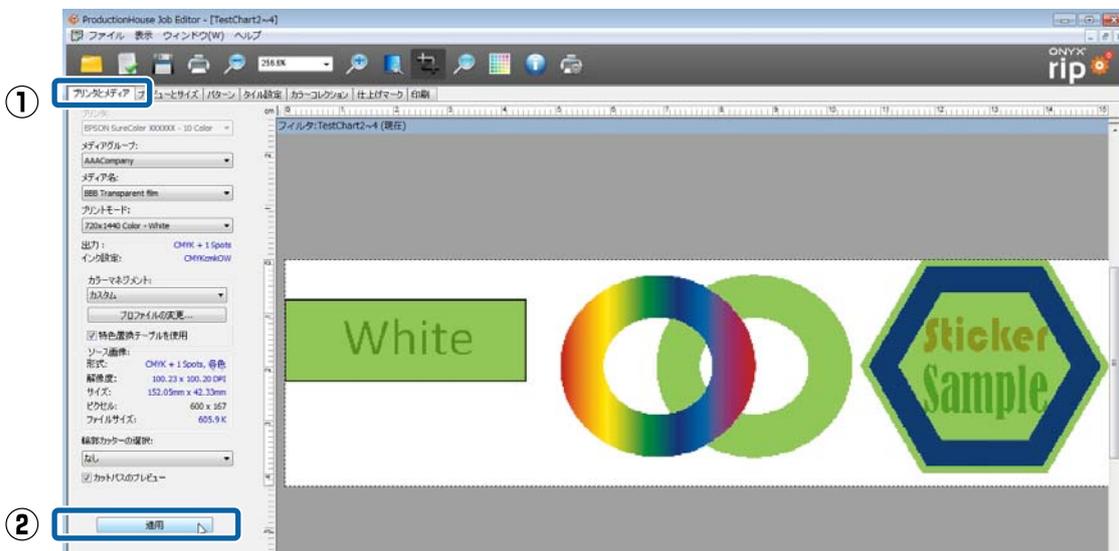
- 3 印刷データとクイックセットを選択し、[Job Editorで開く] にチェックを付けて [開く] をクリックします。クイックセットは、WH/MS 印刷用に作成したものを選択してください。



Job Editor が自動で起動します。

- 4 [プリンターとメディア] タブをクリックし、印刷データを確認します。

画像処理ソフトで指定した WH/WH 印刷領域に色が付いて表示されます。(RIP が表示確認用に自動で着色します。) 印刷データに問題がないことを確認できたら、[適用] をクリックします。



- 5 プリンターアイコンをクリックします。



6 RIP Queue 画面右側の [印刷開始] をクリックします。



未加工のデータの印刷

参考

ONYX RIPCenter は、本機能に対応していません。

付属の ONYX RIPCenter Epson edition をお使いの方は、有償アップグレードをすると本機能を使用できます。

詳しくは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターへお問い合わせください。

エプソンソリューションコールセンターの連絡先は、お使いのプリンターのマニュアルに掲載されている「お問い合わせ先」をご覧ください。

ここではオブジェクトや画像部分に WH/MS 印刷領域を割り当てて印刷する手順を説明します。あらかじめ、前項をご覧になりクイックセットを作成しておいてください。

[🔗 「クイックセットの作成」 14 ページ](#)

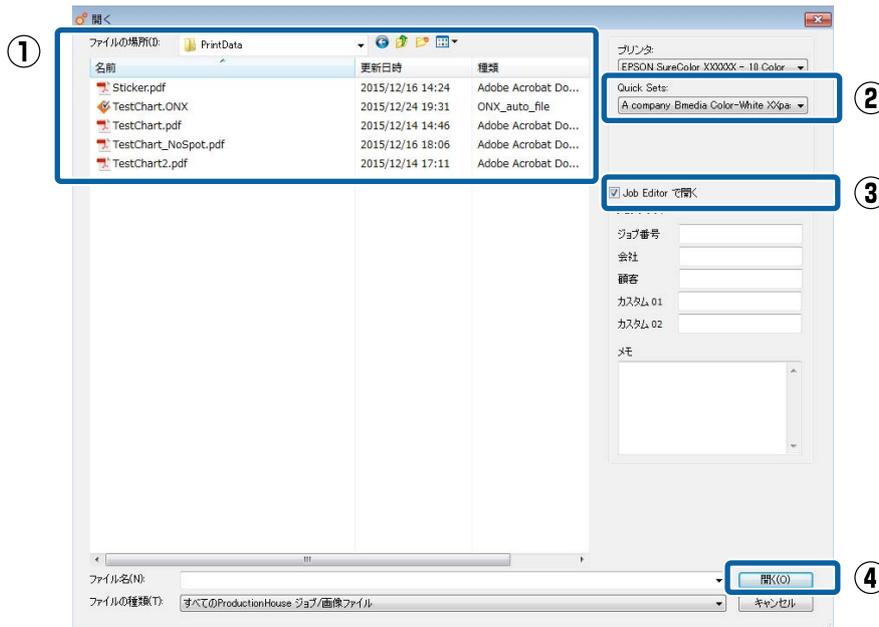
1 RIP Queue のアイコンをダブルクリックします。



- 2 ツールバーの【開く】をクリックします。

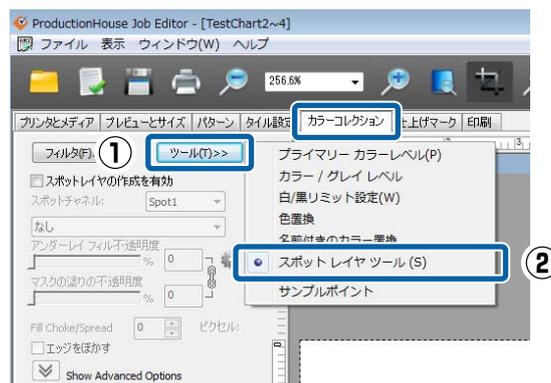


- 3 印刷データとクイックセットを選択し、【Job Editorで開く】にチェックを付けて【開く】をクリックします。クイックセットは、WH/MS印刷用に作成したものを選択してください。



Job Editor が自動で起動します。

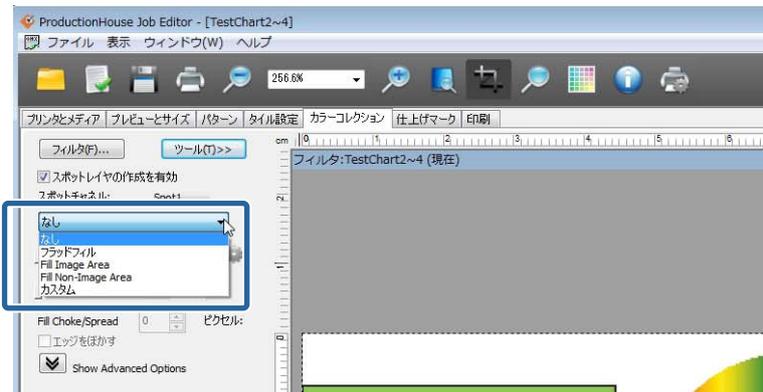
- 4 【カラーコレクション】タブで【ツール】 - 【スポットレイヤーツール】の順にクリックします。



- 5 【スポットレイヤーの作成を有効】にチェックを付けます。

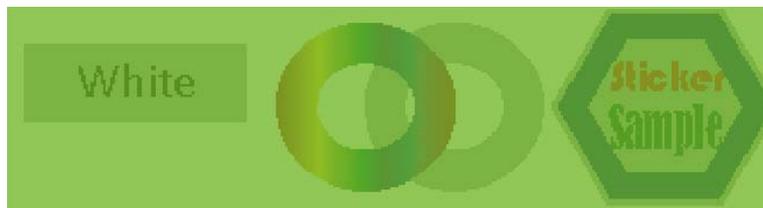


6 WH/MS の印刷領域を選択します。



選択内容に応じて、プレビュー画面の WH/MS 印刷領域に表示確認用の色が付きます。

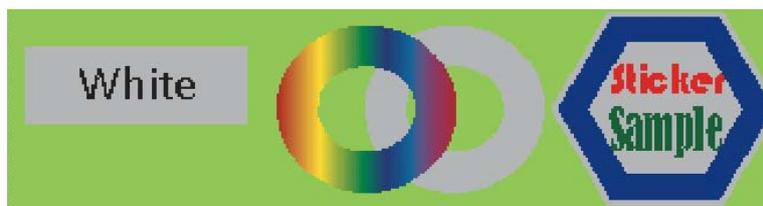
【フラッドフィル】：印刷データ全面に WH/MS を印刷します。



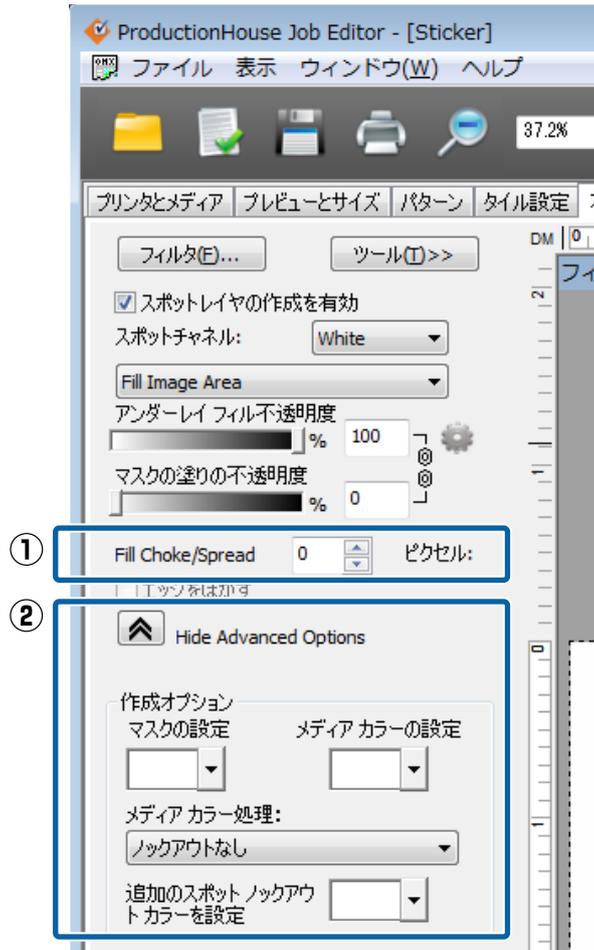
【Fill Image Area】：オブジェクトまたは画像がある部分に WH/MS を印刷します。



【Fill Non-Image Area】：オブジェクトまたは画像がない部分に WH/MS を印刷します。



7 必要に応じて、①または②を設定します。



① 【Fill Choke/Spread】（Fill Image Area ・ Fill Non-Image Area 選択時）

WH/MS 印刷領域のオブジェクトや画像に対するはみ出し量を設定できます。

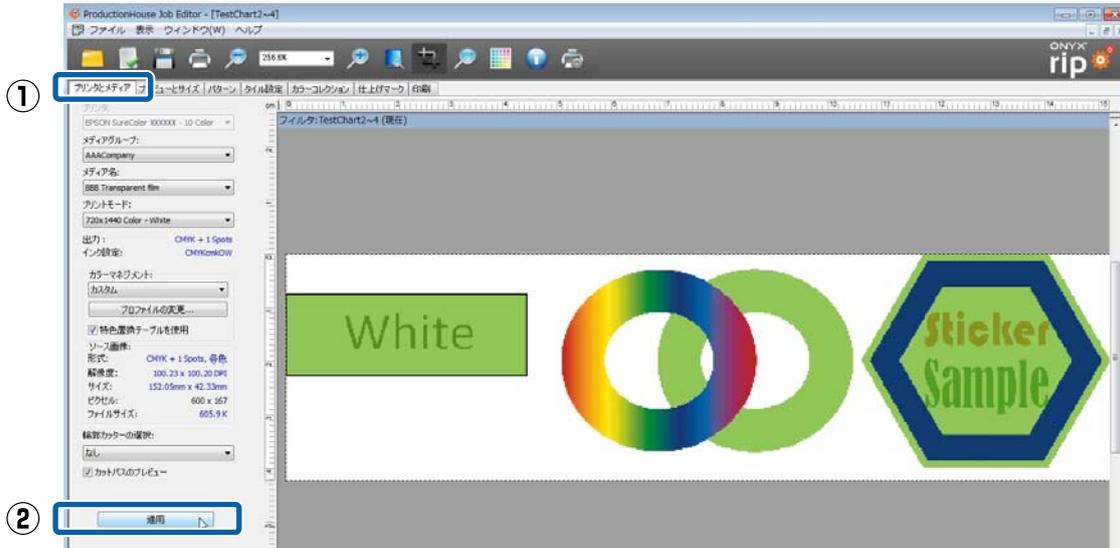
マイナスの値にすると、オブジェクトや画像の内側に収まるように印刷できます。

② ノックアウトの設定（フラッドフィル選択時）

[Show Advanced Options] をクリックすると、[メディアカラー処理] でノックアウト（WH/MS とカラーインクの印刷部分が重なったときに印刷しないこと）の設定ができます。詳細は下表をご覧ください。

[ノックアウトなし]	カラーインクと重なった部分にも WH/MS を印刷します。
[スポット ノックアウト]	指定色の部分にのみ WH/MS を印刷しません。必ず [追加のスポット ノックアウトカラーを設定] で色を指定してください。
[フル ノックアウト]	カラーインクと重なった部分には WH/MS を印刷しません。

8 [プリンターとメディア] タブで [適用] をクリックします。



9 プリンターアイコンをクリックします。



10 画面右側の [印刷開始] をクリックします。



特定色の色あわせ

参考

ONYX RIPCenter は、本機能に対応していません。

付属の ONYX RIPCenter Epson edition をお使いの方は、有償アップグレードをすると本機能を使用できます。

詳しくは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターへお問い合わせください。

エプソンソリューションコールセンターの連絡先は、お使いのプリンターのマニュアルに掲載されている「お問い合わせ先」をご覧ください。

特色やコーポレートカラーのような特定色の色を合わせるときは、RIP で作成した色見本（Color Books）を印刷したものをターゲットと見比べて最適な値を決定します。ターゲットは、色合わせする色によって異なります。

特色*	PANTONE や DIC など、市販の色見本。
特色以外	実際の印刷物や、サンプル品など。

* 画像処理ソフトのスウォッチライブラリから指定した、名前付きの色を指します。

設定方法は、以降をご覧ください。

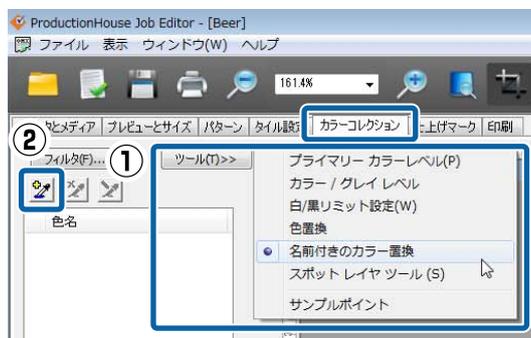
ONYX rip での設定

1 印刷データを **Job Editor** で開きます。

2 [カラーコレクション] タブで [ツール] を選択し、 をクリックします。

色合わせをする色に応じて、以下を選択します。

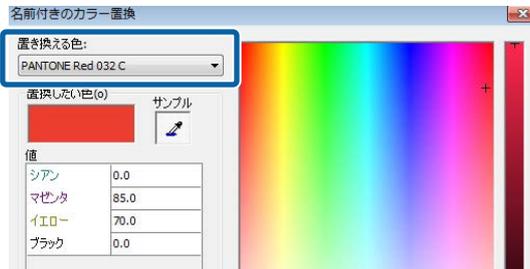
特色	[名前付きのカラー置換]
特色以外	[色置換]



3 色合わせをする色に応じて対象色を選択します。

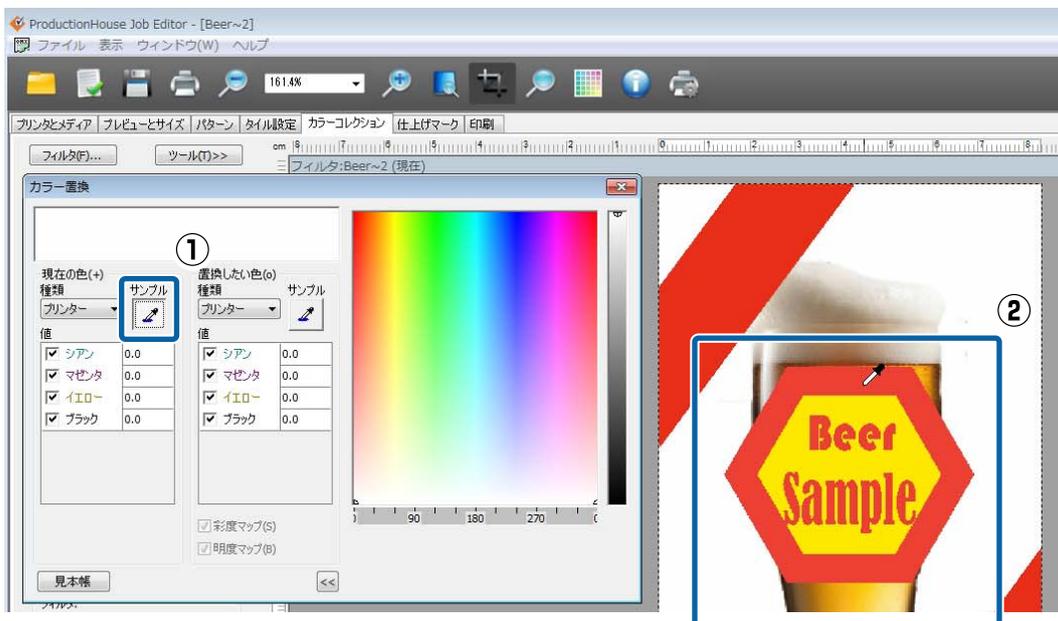
特色

「置き換える色」で色合わせをする特色名を選択します。特色を複数含むデータの場合は、置換する色を正しく選択してください。

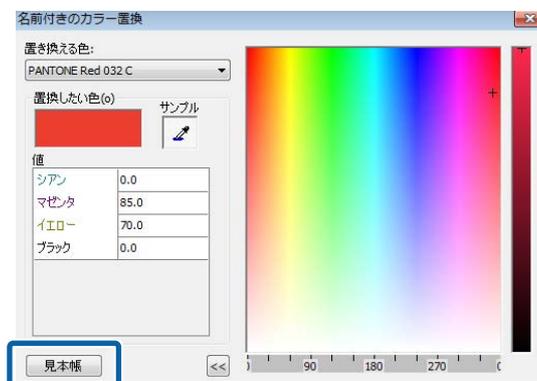


特色以外

「現在の色」で  をクリックし、プレビュー画面で色合わせする色をクリックします。



4 「見本帳」をクリックします。

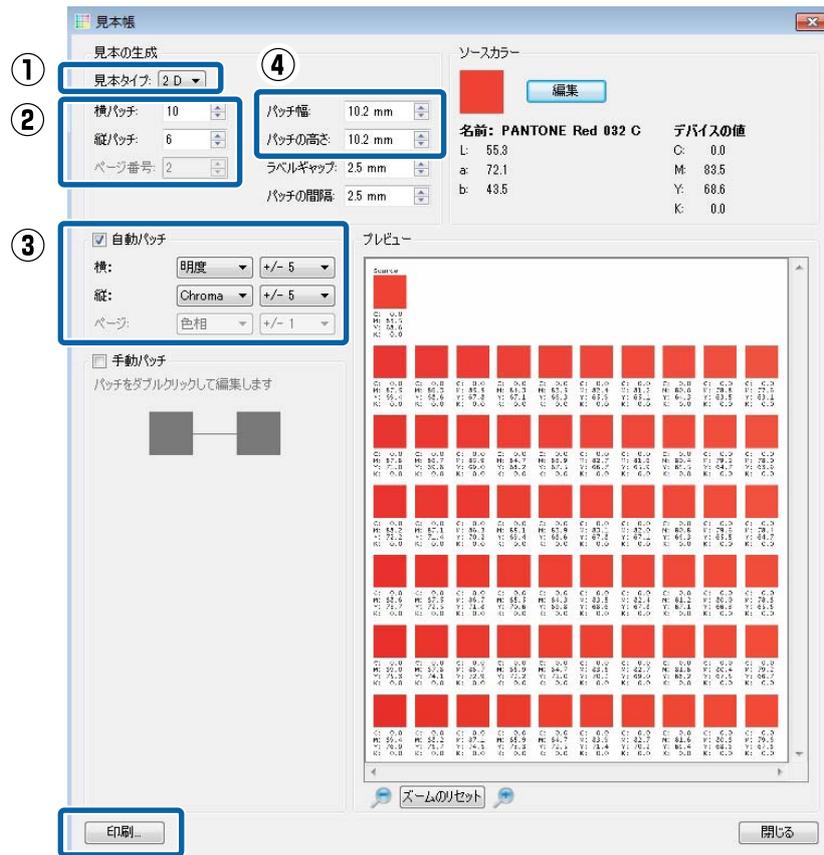


特定色の色あわせ

5 色見本パッチの設定を行い、[印刷] をクリックします。

設定の概要は下表をご覧ください。(項目の詳細は、RIPのマニュアルをご覧ください。)

①	③で設定する要素の数を選択します。(例:[3D] を選択すると3つの要素を設定できます。)
②	縦・横それぞれの印刷パッチ数と印刷するページ数を設定します。
③	通常は、[自動パッチ] にチェックが付いた状態でお使いください。 [横]・[縦]・[ページ] それぞれの変更要素を選択して、右側のプルダウンで範囲を設定します。 [明度] で色の明るさを、[Chroma] で色の鮮やかさ(彩度)を、[色相] で色あいを変更できます。
④	パッチの幅・高さを設定します。20 mm以上をお勧めします。

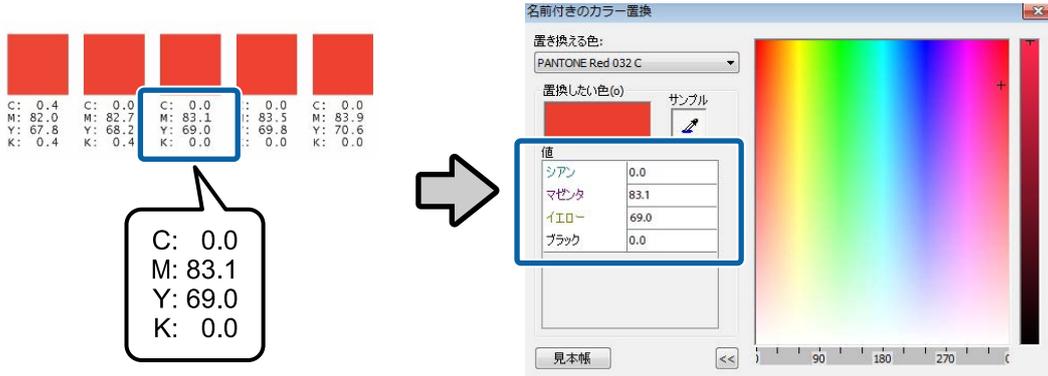


6 印刷した色見本パッチをターゲット(色見本やサンプル品)と見比べて、一番近い色のパッチを探します。

最適な色が見つからないときは、手順5に戻り、パッチ数を増やしたり、範囲を変更したりして色見本パッチを再作成・印刷してください。最適な色が見つかるまで手順5・6を繰り返してください。

特定色の色あわせ

7 手順 6 で見つけた色の CMYK 値を [置換したい色] の [値] に入力します。



! 重要

色合わせをすると、印刷データ内の指定色と同じ色は全て置換されます。意図しない部分まで色置換されていないか、印刷前に Job Editor のプレビュー画面でよく確認してください。

8 実際のデータを印刷して色合わせの結果を確認します。

より正確に色を合わせたいときは、手順 1 から再実施して近似色を見つけてください。

困ったときには

WH/MS が印刷されない

以下を確認してください。

印刷データを事前に加工しましたか？

WH/MS 印刷時は、印刷データを RIP で読み込む前に加工が必要です。データを加工せずそのまま印刷するときは、未加工のデータ用の印刷設定をしてください。

データの加工手順 [☞ 「印刷データの加工」 6 ページ](#)

ONYX rip の印刷設定 [☞ 「未加工のデータの印刷」 22 ページ](#)

WH/MS 印刷用の RIP 設定になっていますか？

White や Metallic など画像処理ソフトで付けた特色レイヤー名/チャンネル名と RIP 設定時に入力した名称が一致しないとインクの割り当てが正しく行われません。半角文字になっているか、大文字・小文字の間違いやスペルミスがないか確認してください。また、印刷モードは必ず WH/MS 用のものを選択してください。

[☞ 「クイックセットの作成」 14 ページ](#)

プリンターのカラーモードは正しいですか？

インクカートリッジを差し替えただけでは、プリンターのカラーモードが切り替わりません。必ず操作パネルのメニューで [カラーモード切り替え] を行ってください。

設定手順 [☞ 「ユーザーズガイド」 \(PDF\)](#)

カラーと WH/MS が重なる部分が正しく印刷されない

印刷データ加工の有無で、確認項目が異なります。

加工済みデータ

以下の点を確認してください。

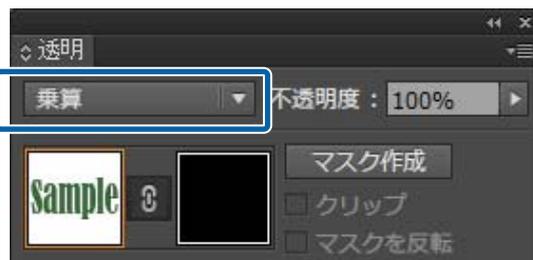
• レイヤーの重ね順は正しいですか？

Illustrator や Photoshop で印刷データを開いてレイヤーの重ね順を確認してください。

• オーバープリント（[属性] / [透明]）の設定は正しいですか？（Illustrator のみ）

Illustrator で印刷データを開き、オブジェクトが重なったとき下層になる部分を印刷する・しないに応じた設定になっているか確認してください。

また、お使いの RIP によっては、[属性] でオーバープリントの設定にチェックを付けると正しく印刷されないことがあります。[属性] のチェックを全て外し、[透明] の [描画モード] で [乗算] を選択してください。



• **RIP の印刷設定は正しいですか？**

お使いの RIP によっては、RIP の印刷設定でレイヤーの印刷順の入れ替えやオーバープリント（ノックアウト）の設定ができます。RIP の印刷設定に問題がないか確認してください。

データの加工手順 [🔗 「印刷データの加工」 6 ページ](#)

ONYX rip の印刷設定 [🔗 「加工済みデータの印刷」 20 ページ](#)

未加工のデータ

RIP の印刷設定で以下の点を確認してください。

- 選択した印刷モードのレイヤー数や印刷順、印刷結果の見え方などは適切か。
- レイヤーの印刷順は正しいか。
- オーバープリント（ノックアウト）の設定は正しいか。

[🔗 「未加工のデータの印刷」 22 ページ](#)

高濃度印刷時に階調飛びが見られる

以下を確認してください。

お使いのメディアに合った EMX ファイルを使用していますか？

お使いのメディアの EMX ファイルを使用しないと、最適な印刷結果が得られません。Back Lite Film の EMX ファイルには高濃度印刷用のモードを収録しています。RIP 設定で高濃度印刷モードを選択してください。

エプソンから EMX ファイルが提供されていないメディアをお使いのときは、特性が近いメディアの EMX ファイルを元にメディア設定を編集してください。

インク濃度（Ink Density）を 100%以上に設定していませんか？

RIP でインク濃度を 100%以上に設定すると色濃く印刷できますが、階調飛びや色ムラが見られることがあります。また、濃度を上げすぎるとインクが乾燥しにくくなります。

インク濃度を 100%以上に設定しているときは、設定値を下げてください。